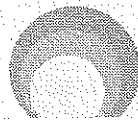


15

経 済

16版

2013年



九州経済

気流

「バブル世代とはいえ、今や堅実に地に着いた暮らしが主流」。

市場調査会社ジーコム(福岡市)が福岡県内の700人を対象に調査した「ライフテータブルおカ2013」の報告会は、なかなか楽しめた▼20代から60代までゆとり「第2次ベビーブーマー」「バブル」など五つの世代に分類し、消費行動を分析した。1963〜70年生まれを「バブル世代」と呼ぶことに、その1人として違和感もあるが、各世代の分析に「ヤリ」としてしまふ▼例えば、バブル世代は子育てなど家計支出が増えており、生活満足度は最も低い。学び好きで努力目標を達成すると、ご褒美の消費をする。低価格志向は他世代より低く格付けに弱い。女性は子離れ後の自由時間向けスタンバイ中、等々。さて、バブルの同志たちよ、どう受け止める？